



特集

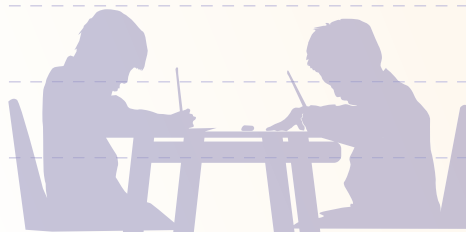
「小6 統一合判」3

中学入試レポート vol.

どうなる2018年入試？

最新の志望動向から探る 入試予測と併願校選びのポイント

6年生の統一合判テストもこれで3回目。大勢の仲間が集まって力を競う、こうしたテストの雰囲気や形式に、ようやく慣れてきた受験生も多いと思う。来年2月の入試本番まで残り5か月足らず。いよいよこれからが、入試に即した実戦的な力を身につける段階だ。一方で保護者の皆さんは、わが子の受験校を固めていく時期になった。そこで今回は、この9月までに明らかになった志望動向（7月「統一合判」の前年比較）を踏まえて、来春2018年の入試状況をできる範囲で予想しながら、併願校選びのポイントをお伝えしていこう。



首都圏模試センター

**早稲田①、駒場東邦、海城①、桐朋①が人気増加。
早稲田高等学院はじめ大学付属校も人気増。**

先の7月「統一合判」の受験者数は、計11,851名（男子5,561名、女子6,290名）で、昨年7月の受験者数11,499名の103%に増加した。この動きを見る限り、来春2018年首都圏中学入試の受験者数は、4年続きで増加する可能性が大きくなった。

そうしたなかで、この時点での志望者が前年比100%を超えて増加している学校は、ほぼ人気増加傾向と考えることができる。その点を踏まえて、個々の人気動向を見ていこう。

まず、男子の2月1日入試校の目立った動向を右の表に紹介した。

男子の最難関グループで開成、駒場東邦、海城①、早稲田①、慶應普通部、渋谷教育学園渋谷①、早稲田高等学院はやや志望者増。逆に麻布、武蔵、芝①はやや減少となっている。早稲田実業はほぼ昨年並み。

これに続く準難関校では、サレジオ学院Aが微増。広尾学園①が微増。本郷①、中央大学横浜①は減少が目立ち、桐朋①は増加が目立っている。

来春から2月1日午前に新設される鎌倉学園①は73名の志望者となっている。また、来春からの共学化で注目される青山学院横浜英和Aは64名の志望者となっている。

城北①、攻玉社①、巣鴨①、世田谷学園①は志望者増加傾向。とくに世田谷学園の人気増加が目立つ。高輪A、成城①はやや志望者減。



来春2018年入試では2月1日の第1回入試の志望者増加が目立つ早稲田中。

**7月度小6「統一合判」模試志望者数 前年比較<一部抜粋>
日程(AM・PM)別 偏差値順 ●=男子校 ○=共学校
これ以外の各校の志望者数はWebサイト「度数分布表」をご覧ください**

7月 予想 偏差値	学校名		7月志望者数(名)		前年7月比 増減(%)
			2017年	2016年	
男子 2月1日 AM					
78	●	開成	107	102	△ 5 (105%)
74	●	麻布	91	101	▲ 10 (90%)
74	●	駒場東邦	76	51	△ 25 (149%)
73	●	海城①	139	122	△ 17 (114%)
73	●	早稲田①	197	142	△ 55 (139%)
73	○	早稲田実業学校	140	142	▲ 2 (99%)
73	●	慶應義塾普通部	150	143	△ 7 (105%)
72	○	渋谷教育学園渋谷①	70	54	△ 16 (130%)
72	●	武蔵	83	92	▲ 9 (90%)
71	●	芝①	250	276	▲ 26 (91%)
69	●	早稲田大学高等学院	152	129	△ 23 (118%)
69	●	サレジオ学院A	136	130	△ 6 (105%)
69	●	逗子開成①	152	166	▲ 14 (92%)
68	○	広尾学園①	107	103	△ 4 (104%)
67	●	本郷①	277	306	▲ 29 (91%)
66	●	桐朋①	174	150	△ 24 (116%)
66	○	中央大学附属横浜①	179	226	▲ 47 (79%)
65	●	鎌倉学園①※	73	—	△ 73 (—)
64	●	城北①	228	217	△ 11 (105%)
64	○	中央大学附属①	203	155	△ 48 (131%)
63	●	攻玉社①	248	233	△ 15 (106%)
63	○	法政大学①	159	147	△ 12 (108%)
63	○	青山学院横浜英和A※	64	—	△ 64 (—)
62	●	芝浦工業大学附属①	377	414	▲ 37 (91%)
62	●	巣鴨①	175	166	△ 9 (105%)
62	●	世田谷学園①	182	134	△ 48 (136%)
62	●	高輪A	253	267	▲ 14 (95%)
61	●	成城①	290	326	▲ 36 (89%)
60	○	三田国際学園①本科	117	105	△ 12 (111%)
60	○	明治大学付属中野八王子A①	152	132	△ 20 (115%)
60	○	桐光学園①	162	136	△ 26 (119%)
59	○	成城学園①	153	141	△ 12 (109%)
56	○	開智日本橋学園①2科4科	140	82	△ 58 (171%)
53	●	獨協①	205	246	▲ 41 (83%)
53	○	日本大学第二①	242	225	△ 17 (108%)
50	○	東洋大学京北①	164	139	△ 25 (118%)
48	○	八雲学園①※	32	—	△ 32 (—)
48	○	安田学園(一般入試①)	93	67	△ 26 (139%)
42	○	東海大学付属相模A	116	79	△ 37 (147%)
40	○	日本工業大学駒場①	36	19	△ 17 (189%)
40	○	関東学院六浦A①	57	25	△ 32 (228%)
男子 2月1日 PM					
71	●	鎌倉学園(算数選抜)	50	39	△ 11 (128%)
66	○	東京農業大学第一①	173	159	△ 14 (109%)
63	○	東京都市大等々力(S特選①)	85	63	△ 22 (135%)
62	●	東京都市大学付属①I	220	162	△ 58 (136%)
61	○	青稜①B	138	96	△ 42 (144%)
60	○	安田学園(先進特待入試②)	51	33	△ 18 (155%)
55	○	八雲学園②※	30	—	△ 30 (—)
54	○	東京電機大学②	90	65	△ 25 (138%)

「※」印は2018年新設校、または新設入試



特集

どうなる2018年入試?

最新の志望動向から探る、入試予測と併願校選びのポイント



来春2018年入試では2月2日の第1回入試の志望者増加が目立つ聖光学院中。

大学付属校では、中央大学附属①の人気増加が目立つほか、法政大学①、明大中野八王子A①、成城学園①、日本大学第二①、東洋大京北①、東海大相模A、日本工大駒場①、関東学院六浦A①などの志望者増加も目立っている。

豊洲移転の初年度となった今春は全回の入試で人気増加が目立った芝浦工業大学附属①は、この2月1日ではやや志望者減。三田国際学園①本科、開智日本橋学園①2科・4科は、さらに人気増加の傾向が見られるので要注意だろう。

やはり来春からの共学化で注目される八雲学園①は現在のところ32名の志望者だが、今後さらに志望者は増えることが予想される。

午後入試では、鎌倉学園(算数選抜)が前年以上の人気。東京都市大学付属①I型、東京都市大学等々力(S特選①)、青稜①B、安田学園(先進特待②)、東京電機大学②などの志望者増も目立っている。

神奈川では聖光学院①の志望者が増加。

明治大学付属明治はじめ大学付属校も人気増!

次に2日入試の動向を見ていこう。

この2日入試の最難関に位置する聖光学院①は志望者増。逆に栄光学園は志望者をやや減少させている。

大学付属校では、慶應湘南藤沢、学習院①の志望者が微減。青山学院、法政大学第二も志望者が減っているが、逆に、明治大学付属明治①、立教池袋①、明治大学付属中野①、東洋大学京北③、日

7月度小6「統一合判」模試志望者数 前年比較(一部抜粋)

日程(AM・PM)別 偏差値順

●=男子校 / ○=共学校

これ以外の各校の志望者数はWebサイト「度数分布表」をご覧ください

7月 予想 偏差値	学校名	7月志望者数(名)		前年7月比 増減(%)
		2017年	2016年	
男子 2月2日 AM				
76	● 聖光学院①	78	57	△ 21 (137%)
75	● 栄光学園	72	86	▲ 14 (84%)
74	○ 渋谷教育学園渋谷②	30	38	▲ 8 (79%)
72	○ 慶應義塾湘南藤沢	92	95	▲ 3 (97%)
71	● 本郷②	129	139	▲ 10 (93%)
70	● 桐朋②	97	85	△ 12 (114%)
68	● 攻玉社②	120	85	△ 35 (141%)
68	○ 明治大学付属明治①	213	158	△ 55 (135%)
66	○ 青山学院	264	295	▲ 31 (89%)
66	● 東京都市大学付属②II	22	19	△ 3 (116%)
66	○ 神奈川大学附属A	197	223	▲ 26 (88%)
66	● 鎌倉学園②	91	125	▲ 34 (73%)
65	● 城北②	114	116	▲ 2 (98%)
65	● 世田谷学園②	108	89	△ 19 (121%)
64	● 高輪B	146	127	△ 19 (115%)
64	● 立教池袋①	192	163	△ 29 (118%)
64	○ 法政大学第二①	408	426	▲ 18 (96%)
63	● 学習院①	114	117	▲ 3 (97%)
63	● 明治大学付属中野①	570	507	△ 63 (112%)
62	● 巣鴨②	88	97	▲ 9 (91%)
61	○ 国学院大学久我山②	120	137	▲ 17 (88%)
60	● 芝浦工業大学附属②	240	237	△ 3 (101%)
58	○ 森村学園②	81	65	△ 16 (125%)
56	● 東京都市大等々力②	151	64	△ 87 (236%)
55	○ 桐光学園②	150	82	△ 68 (183%)
52	○ 東洋大学京北③	68	42	△ 26 (162%)
48	○ 日本大学第三②	122	84	△ 38 (145%)
48	○ 安田学園(一般入試②)	42	31	△ 11 (135%)
44	● 聖学院②一般※	53	—	△ 53 (—)
男子 2月2日 PM				
70	○ 広尾学園(医進・サイエンス)	44	54	▲ 10 (81%)
67	○ 中央大学附属横浜②	164	178	▲ 14 (92%)
66	○ 東京農業大学第一②	95	93	△ 2 (102%)
65	● 高輪(算数午後)	94	79	△ 15 (119%)
65	○ 青山学院横浜英和B※	64	—	△ 64 (—)
63	○ 三田国際学園③インター	18	12	△ 6 (150%)
62	○ 青稜②B	73	44	△ 29 (166%)
59	○ 開智日本橋学園③2科4科	81	55	△ 26 (147%)
59	○ かえつ有明2/2PM・特待	38	24	△ 14 (158%)
56	○ 順天②B	54	29	△ 25 (186%)
51	○ 八雲学園④※	23	—	△ 23 (—)
46	● 日本大学豊山②	221	187	△ 34 (118%)
45	○ 文教大学付属④	27	16	△ 11 (169%)

「※」印は2018年新設校、または新設入試

本大学第三②は志望者の増加が目立っている。

2月2日の2回目入試の新設から3年目を迎える桐朋②の志望者はさらに増加。最新の教育環境も整い、新たな世代の保護者からの評価が高まっているようで、今後さ

らに志望者が増えてくることが予想される。

攻玉社②、世田谷学園②はこの2日でも人気増。高輪Bも志望者が増えている。来春からこの2日に再び2科・4科入試を新設した聖学院②一般は53名の志望者を集めている。

このほか、東京都市大学等々力②の志望者増加が目立つのをはじめ、森村学園②、桐光学園②の人数増加も目立っている。

**海城②、浅野、逗子開成②など男子校が人気増。
横浜サイエンスフロンティアの志望者は58名に。**

続いて2月3日入試では、最難関の筑波大駒場と早稲田②がやや志望者減。逆に海城②、浅野、逗子開成②、暁星など男子の進学校が人気増加傾向にある。

大学付属校では、慶應義塾中等部、明治大学付属明治②、学習院②、神奈川大学附属B、日本大学第二②、日本大学豊山③などがいずれも志望者増。全体に大学付属校人気は来春も続きそうだ。

中学校の新設2年目となる横浜市立横浜サイエンスフロンティアはほぼ昨年並み。一方、同じ横浜市立の南高等学校附属は志望者減が目立つ。

2月後半戦のヤマ場となる2月4日では、芝②、サレジオ学院B、世田谷学園③が志望者増。来春からこの4日に3回目入試を新設した巣鴨③は48名の志望者となっている。2月5日の逗子開成③、成城③も志望者が増えている。

4日の大学付属校では中央大学附属②、芝浦工業



望1 来春
回2 2018
増3 年入
加4 試
が5 第
目6 2月
立7 1日
つ8 ともに
海9 第
城0 志
中1 望

7月度小6「統一合判」模試志望者数 前年比較(一部抜粋)

日程(AM・PM)別 偏差値順 ●=男子校/○=共学校
これ以外の各校の志望者数はWebサイト「度数分布表」をご覧ください

7月 予想 偏差値	学校名	7月志望者数(名)		前年7月比 増減(%)
		2017年	2016年	
男子 2月3日 AM				
78	● 筑波大学附属駒場	52	60	▲ 8 (87%)
74	● 早稲田②	69	85	▲ 16 (81%)
73	● 海城②	85	68	△ 17 (125%)
73	○ 慶應義塾中等部	182	160	△ 22 (114%)
72	○ 筑波大学附属	39	55	▲ 16 (71%)
72	● 浅野	273	228	△ 45 (120%)
70	○ 横浜市立南高等学校附属	43	71	▲ 28 (61%)
70	○ 市立横浜サイエンスフロンティア	58	61	▲ 3 (95%)
69	○ 明治大学付属明治②	78	63	△ 15 (124%)
69	○ 東京都立小石川中等教育学校	64	87	▲ 23 (74%)
68	● 逗子開成②	71	58	△ 13 (122%)
66	○ 神奈川大学附属B	81	62	△ 19 (131%)
66	○ 神奈川県立相模原中等教育学校	70	76	▲ 6 (92%)
65	○ 東京都立桜修館中等教育学校	66	37	△ 29 (178%)
64	● 暁星	129	118	△ 11 (109%)
64	○ 千代田区立九段中等教育学校	80	71	△ 9 (113%)
63	● 成城②	236	241	▲ 5 (98%)
61	● 学習院②	109	79	△ 30 (138%)
60	○ 成城学園②	107	107	△ 0 (100%)
54	○ 日本大学第二②	249	204	△ 45 (122%)
43	● 日本大学豊山③	165	139	△ 26 (119%)
男子 2月3日 PM				
64	○ 国学院大学久我山ST②	35	50	▲ 15 (70%)
64	○ 青山学院横浜英和C※	42	—	△ 42 (—)
60	○ 東京都大等々力③Sチャレンジ	65	52	△ 13 (125%)
47	● 聖学院③特待・アドバンスト	39	35	△ 4 (111%)
男子 2月4日 AM				
77	● 聖光学院②	37	38	▲ 1 (97%)
71	● 芝②	155	125	△ 30 (124%)
70	● サレジオ学院B	94	83	△ 11 (113%)
68	● 城北③	42	62	▲ 20 (68%)
66	● 鎌倉学園③	80	79	△ 1 (101%)
65	● 世田谷学園③	103	56	△ 47 (184%)
65	○ 法政大学第二②	228	289	▲ 61 (79%)
63	● 巣鴨③※	48	—	△ 48 (—)
63	○ 中央大学附属②	131	110	△ 21 (119%)
63	● 明治大学付属中野②	264	265	▲ 1 (100%)
61	○ 成蹊②	108	129	▲ 21 (84%)
59	● 芝浦工業大学附属③	263	190	△ 73 (138%)
59	○ 日本大学藤沢②	136	119	△ 17 (114%)
53	● 獨協③	140	118	△ 22 (119%)
47	○ 東海大学付属相模C	86	69	△ 17 (125%)
男子 2月5日 AM				
70	● 本郷③	64	71	▲ 7 (90%)
68	● 逗子開成③	101	91	△ 10 (111%)
63	● 成城③	149	134	△ 15 (111%)
62	○ 国学院大学久我山③	120	146	▲ 26 (82%)
男子 2月6日 AM				
64	● 東京都市大学付属④I	64	50	△ 14 (128%)
39	○ 日本工業大学駒場(特別選抜)	14	7	△ 7 (200%)

「※」印は2018年新設校、または新設入試



特集

どうなる2018年入試?

最新の志望動向から探る、入試予測と併願校選びのポイント

大学附属③、日本大学藤沢②、獨協③、東海大相模Cなどが志望者増。6日の東京都市大学付属④ I型の志望者も増えている。

桜蔭、早稲田実業がやや人気増加。広尾学園①、頌栄女子学院、立教女学院も人気増加

続いて女子の2月1日入試校を見ていこう。

2月1日の難関校グループでは、桜蔭、早稲田実業が志望者増。洗足学園①はほぼ前年並みとなっている。女子学院、渋谷教育学園渋谷①もほぼ前年並み。

また、雙葉の志望者減が目立つほか、フェリス女学院、鷗友学園女子①、吉祥女子①は微減。

逆に広尾学園①が大幅に志望者を増やしているほか、学習院女子A、頌栄女子学院①、立教女学院、横浜共立学園Aなどの人気増加が目立つ。

このほか、横浜雙葉の志望者が減少。また、男子とはやや違って、女子では大学付属校の成蹊①、中央大学横浜①、中央大学附属①、青山学院横浜英和Aなどの志望者が減少している。女子大学の付属校では日本女子大学附属①、大妻①などが志望者減。

一方、共立女子2/1入試、香蘭女学校、田園調布学園①、跡見学園2/1AM・Pクラスなどは志望者が目立って増加している。晃華学園①、光塩女子学院①などもやや志望者増。来春からの共学化に合わせて2月1日午前入試にも参入した八雲学園①は82名の志望者。男子を迎え入れる分、女子の入試レベルは上昇することが予想される。



来春2018年入試では志望者の大幅な増加が目立つ立教女学院中。

7月度小6「統一合判」模試志望者数 前年比較(一部抜粋)

日程(AM・PM)別 偏差値順

●=女子校 / ○=共学校

これ以外の各校の志望者数はWebサイト「度数分布表」をご覧ください

7月 予想 偏差値	学校名	7月志望者数(名)		前年7月比 増減(%)
		2017年	2016年	
女子 2月1日 AM				
76	● 桜蔭	70	60	△ 10 (117%)
75	● 女子学院	96	97	▲ 1 (99%)
73	● 雙葉	48	68	▲ 20 (71%)
73	○ 早稲田実業学校	78	68	△ 10 (115%)
73	● 洗足学園①	152	150	△ 2 (101%)
73	● フェリス女学院	68	76	▲ 8 (89%)
72	○ 渋谷教育学園渋谷①	65	67	▲ 2 (97%)
69	● 鷗友学園女子①	142	147	▲ 5 (97%)
68	○ 広尾学園①	200	138	△ 62 (145%)
67	● 学習院女子A	141	120	△ 21 (118%)
67	● 吉祥女子①	167	176	▲ 9 (95%)
67	● 頌栄女子学院①	161	118	△ 43 (136%)
66	○ 成蹊①	104	114	▲ 10 (91%)
66	○ 中央大学附属横浜①	156	214	▲ 58 (73%)
66	● 横浜雙葉	82	97	▲ 15 (85%)
65	● 東洋英和女学院A	143	155	▲ 12 (92%)
65	○ 法政大学①	131	120	△ 11 (109%)
65	● 立教女学院	195	154	△ 41 (127%)
65	● 横浜共立学園A	150	126	△ 24 (119%)
64	○ 中央大学附属①	169	194	▲ 25 (87%)
63	● 日本女子大学附属①	121	136	▲ 15 (89%)
62	● 大妻①	308	335	▲ 27 (92%)
62	○ 森村学園①	103	118	▲ 15 (87%)
62	○ 青山学院横浜英和A	185	212	▲ 27 (87%)
61	● 共立女子2/1入試	440	399	△ 41 (110%)
61	● 晃華学園①	90	80	△ 10 (113%)
61	● 品川女子学院①	311	315	▲ 4 (99%)
60	○ 三田国際学園①本科	136	124	△ 12 (110%)
60	● カリタス女子(一般入試①)※	34	—	△ 34 (—)
59	● 光塩女子学院①	34	27	△ 7 (126%)
59	● 香蘭女学校	430	369	△ 61 (117%)
59	○ 青稜①A	95	67	△ 28 (142%)
59	○ 明治大学付属中野八王子A①	109	103	△ 6 (106%)
57	● 田園調布学園①	194	144	△ 50 (135%)
56	○ 開智日本橋学園①2科4科	153	78	△ 75 (196%)
53	○ 日本大学第二①	199	184	△ 15 (108%)
48	● 跡見学園2/1AM・Pクラス	181	139	△ 42 (130%)
47	○ 八雲学園①※	82	—	△ 82 (—)
44	● 十文字①スーパー型特待	174	161	△ 13 (108%)
43	● 日本大学豊山女子①	121	123	▲ 2 (98%)
女子 2月1日 PM				
69	○ 広尾学園②	91	93	▲ 2 (98%)
67	○ 東京農業大学第一①	138	123	△ 15 (112%)
63	● 品川女子学院(算数1科午後)※	88	—	△ 88 (—)
63	○ 淑徳(東大選抜①)	45	35	△ 10 (129%)
62	● 大妻多摩(午後入試)	101	78	△ 23 (129%)
60	○ 安田学園(先進特待入試②)	46	25	△ 21 (184%)
59	○ 明治学院①	124	73	△ 51 (170%)
54	● 横浜女学院B	92	46	△ 46 (200%)
53	● 三輪学園①PM※	144	—	△ 144 (—)

「※」印は2018年新設校、または新設入試

午後入試では、来春新設の品川女子学院（算数1科午後）が88名の志望者、同じく新設の三輪田学園①PMが144名の志望者を集めている。

**豊島岡女子学園、明治大学付属明治、青山学院が
人気増加。共立女子の志望者増も目立つ。**

2月2日入試の女子最難関グループでは、豊島岡女子学園①の人気増加が目立つ。慶應湘南藤沢も安定人気で、ほぼ昨年並みの志望者数。明治大学付属明治①、青山学院はともに志望者の増加が目立ち、来春入試でも大学付属校の人気の高さを象徴するような志望動向となっている。

白百合学園は前年並み。渋谷教育学園渋谷②、洗足学園②、吉祥女子②はいずれもやや志望者減。神奈川大附属Aは志望者の減少が目立つ。

鎌倉女学院①は志望者増。同じ神奈川では湘南白百合学園の志望者が減少している。法政大学第二①は志望者が微増している。

女子大学の付属・系列校は、この2日では共立女子2/2入試の志望者が目立って増加。大妻②、恵泉女学園Aの志望者も増えている。

このほか女子校では、田園調布学園②の志望者増が目立つ。富士見②、光塩女子学院②の志望者も増加している。

午後入試では、山手学院B、東京都市大学等々力(S特選②)、淑徳（スーパー特進②）、桜美林2/2PM、跡見学園2/2PM・1クラス、十文字（チャレンジ型）、女子聖学院③などの志望者が増えている。

**3日入試では慶應中等部の人気増加が目立つ。
後半戦にも合格のチャンスが多いことに注目を！**

続いて2月3日入試校では、慶應義塾中等部、明治大学付属明治②、学習院女子B、明治大学附属中野八王子A②など、全体的に大学付属校の人気増加が目立つ。大妻③、共立女子2/3合科型入試

7月度小6「統一合判」模試志望者数 前年比較<一部抜粋>
日程(AM・PM)別 偏差値順 ●=女子校/○=共学校
これ以外の各校の志望者数はWebサイト「度数分布表」をご覧ください

7月 予想 偏差値	学校名	7月志望者数(名)		前年7月比 増減(%)
		2017年	2016年	
女子 2月2日 AM				
75	● 豊島岡女子学園①	142	107	△ 35 (133%)
74	○ 渋谷教育学園渋谷②	21	31	▲ 10 (68%)
74	● 洗足学園②	83	103	▲ 20 (81%)
73	○ 慶應義塾湘南藤沢	91	85	△ 6 (107%)
69	● 白百合学園	62	63	▲ 1 (98%)
69	○ 明治大学付属明治①	143	105	△ 38 (136%)
68	○ 青山学院	279	247	△ 32 (113%)
68	● 吉祥女子②	80	90	▲ 10 (89%)
66	○ 神奈川大学附属A	117	176	▲ 59 (66%)
65	● 鎌倉女学院①	142	131	△ 11 (108%)
65	○ 法政大学第二①	252	248	△ 4 (102%)
63	● 湘南白百合学園	57	71	▲ 14 (80%)
62	● 大妻②	180	159	△ 21 (113%)
62	● 共立女子2/2入試	299	228	△ 71 (131%)
61	● 富士見②	189	178	△ 11 (106%)
59	○ 田園調布学園②	179	115	△ 64 (156%)
58	● 光塩女子学院②	72	47	△ 25 (153%)
57	● 恵泉女学園A	257	241	△ 16 (107%)
57	● 山脇学園B	241	238	△ 3 (101%)
47	○ 桐光学園②	83	74	△ 9 (112%)
46	● 跡見学園2/2AM・Pクラス	96	91	△ 5 (105%)
女子 2月2日 PM				
67	○ 中央大学附属横浜②	169	163	△ 6 (104%)
66	● 普連土学園②	101	104	▲ 3 (97%)
64	○ 山手学院B	87	62	△ 25 (140%)
64	○ 青山学院横浜英和B	146	140	△ 6 (104%)
63	○ 東京都市大等々力(S特選②)	41	19	△ 22 (216%)
55	○ 淑徳（スーパー特進②）	82	63	△ 19 (130%)
53	○ 桜美林2/2PM	78	56	△ 22 (139%)
52	● 聖園女学院④	33	58	▲ 25 (57%)
50	○ 八雲学園④	67	62	△ 5 (108%)
50	● 聖セシリア女子A②	51	66	▲ 15 (77%)
48	● 跡見学園2/2PM・1クラス	82	53	△ 29 (155%)
47	● 十文字（チャレンジ型）	70	55	△ 15 (127%)
43	● 日本大学豊山女子④	64	71	▲ 7 (90%)
42	● 女子聖学院③	52	30	△ 22 (173%)



来春2018年入試では2月2日の第1回入試の志望者増加が目立つ豊島岡女子学園中。



も志望者増。晃華学園②も志望者が増えている。

横浜共立学園B、鷗友学園女子②はほぼ前年並み。東洋英和女学院Bは志望者の減少が目立つ。

一方、この2月3日入試の国立大学附属校、公立中高一貫校では、お茶の水女子大学附属が志望者増。横浜市立南高等学校附属、都立小石川中等教育学校の志望者は減少している。

午後入試では、来春から新設される共立女子2/3インタラクティブ入試(英語入試)、大妻中野(算数入試)が、初年度から注目されている様子だ。

2月4日以降の後半戦では、右の表中にある志望者の増加校に注目したい。東海大付属相模C、淑徳巣鴨(一般③)などで女子の志望者が増えていることも注目される。

とくに女子の場合、前半でひとつでも合格を確保できていれば、2月4日以降の後半戦にも、さらに「良い学校に合格できる」チャンスが数多くあることを意識しておくとうまいだろう。



来春2018年入試では3回の入試とも志望者の増加が目立つ田園調布学園中。

7月度小6「統一合判」模試志望者数 前年比較(一部抜粋)

日程(AM・PM)別 偏差値順 ●=女子校 ○=共学校

これ以外の各校の志望者数はWebサイト「度数分布表」をご覧ください

7月予想偏差値	学校名	7月志望者数(名)		前年7月比増減(%)
		2017年	2016年	
女子 2月3日 AM				
75	○ 慶應義塾中等部	113	69	△ 44 (164%)
72	○ お茶の水女子大学附属	99	83	△ 16 (119%)
72	● 横浜共立学園B	88	87	△ 1 (101%)
71	● 鷗友学園女子②	60	61	▲ 1 (98%)
70	○ 横浜市立南高等学校附属	77	99	▲ 22 (78%)
70	○ 市立横浜サイエンスフロンティア	41	43	▲ 2 (95%)
69	● 東洋英和女学院B	63	99	▲ 36 (64%)
69	○ 明治大学付属明治②	63	50	△ 13 (126%)
69	○ 東京都立小石川中等教育学校	69	94	▲ 25 (73%)
67	● 学習院女子B	74	55	△ 19 (135%)
66	○ 神奈川県立相模原中等教育学校	78	90	▲ 12 (87%)
65	● 晃華学園②	78	51	△ 27 (153%)
65	○ 東京都立桜修館中等教育学校	101	100	△ 1 (101%)
63	● 大妻③	113	98	△ 15 (115%)
62	● 共立女子2/3合科型入試	77	51	△ 26 (151%)
62	○ 明治大学付属中野八王子A②	97	74	△ 23 (131%)
女子 2月3日 PM				
63	○ 青山学院横浜英和C	104	106	▲ 2 (98%)
59	● 共立女子2/3インタラクティブ*	32	—	△ 32 (—)
57	● 恵泉学園S②	167	189	▲ 22 (88%)
53	● 大妻中野(算数入試)*	32	—	△ 32 (—)
48	● 横浜女学院E	74	48	△ 26 (154%)
女子 2月4日 AM				
69	● 吉祥女子③	72	75	▲ 3 (96%)
65	○ 成蹊②	105	100	△ 5 (105%)
65	○ 中央大学附属②	149	138	△ 11 (108%)
65	● 鎌倉女学院②	87	95	▲ 8 (92%)
64	○ 法政大学第二②	160	156	△ 4 (103%)
59	● 田園調布学園③	153	98	△ 55 (156%)
54	○ 桐学園③A	77	55	△ 22 (140%)
47	○ 東海大学付属相模C	61	42	△ 19 (145%)
43	○ 淑徳巣鴨(一般入試③)	35	12	△ 23 (292%)
女子 2月5日 AM				
73	● 洗足学園③	94	66	△ 28 (142%)
68	● 頌栄女子学院②	117	89	△ 28 (131%)
64	○ 法政大学③	106	82	△ 24 (129%)

【*】印は2018年新設校、または新設入試

2018年入試を勝ち抜く「併願作戦」を立てるヒント

～“合格”を引き寄せる5つのポイント～

ここでは、来春2018年入試で合格をつかむための「ベストな併願作戦を組み立てる」ときのヒントを紹介しておこう。以下は第一志望だけではなく、すべての併願校を選んでいくためにも重要なことにほかならない。だからこそ、これから受験校選びをしていくうえで、あらためて意識すべきポイントとして参考にしていただきたい。

- (1) 少なくとも6校(6回)以上に出願し、合格を得るまで「受け抜く」覚悟を固める。
- (2) 上記(1)のことを実行するために、少なくとも10校以上の学校を見学する。
- (3) 親子で「これだけは譲れない」という学校選択の条件を絞り、それ以外は柔軟に受験校を選ぶ。
第2志望校以下は「親の責任で」選び、併願校に加える。
- (4) 併願校の難易度を上下幅広く選び、慎重かつ強気の組み合わせを考える。
- (5) どんな状態、コンディションでも、親子で「最後まで明るく」受験に挑む気持ちで。

12月の東邦大東邦（推薦）は敬遠傾向か？
埼玉、千葉入試の新たな動きには十分に注目を！

最後に1月中入試の男女の動向を見ていきたい。
12月中では、今春から新設された東邦大付属東邦（推薦）は、その厳しさからか男女とも志望者が減少。千葉県立東葛飾はやや志望者増。

埼玉エリアの入試がスタートする1月10日の男子の受験校では、男子は栄東、開智の各回の志望者が増加傾向。獨協埼玉、大宮開成、春日部共栄も入試回によって志望者が増えている。

埼玉エリアの女子では大宮開成が人気増加傾向。1月中の女子校の最難関・浦和明の星女子①、淑徳与野①の志望者はやや減少しているが、変わらず高い人気と見ておくべきだろう。

1月20日からの千葉エリアの入試の男子は、最難関の渋谷学園幕張①、市川①、東邦大付属東邦（前期）、がいずれも志望者増。芝浦工大柏①、麗澤①AEコースなども志望者が増えている。埼玉の立教新座①も志望者が増加傾向にある。

千葉エリアの女子は、男子とは違って、渋谷学園幕張①、市川①、東邦大付属東邦（前期）は、やや志望者減。逆に昭和秀英②（一般）の志望者が増えている。麗澤、成田高付属、千葉日本大学第一などの中堅校の人気も高まっている。

この千葉エリアでは、今春の東邦大付属東邦、来春の成田高付属のように、12月中に推薦（第一志望）入試を新設するケースも増え、そのほかの入試改革など新たな動きも少なくない。そうした変化のなかで保護者が各校の魅力を探り、志望校として上手に選択する傾向が見られるといってもよいだろう。



来春2018年入試ではとくに栄東中の志望者の増加が目立つ風景。

7月度小6「統一合判」模試志望者数 前年比較（一部抜粋）
日程（AM・PM）別 偏差値順 ●=男子校／●=女子校／○=共学校
これ以外の各校の志望者数はWebサイト「度数分布表」をご覧ください

7月 予想 偏差値	学校名	7月志望者数（名）		前年7月比 増減（%）
		2017年	2016年	
男子 12月～1月9日				
72	○ 東邦大学付属東邦（推薦）	56	106	▲ 50（53%）
73	○ 千葉県立千葉	106	107	▲ 1（99%）
71	○ 千葉県立東葛飾	101	89	△ 12（113%）
56	○ 茗溪学園（一般①）	102	75	△ 27（136%）
男子 1月10日 AM・PM				
68	○ 栄東A	226	200	△ 26（113%）
65	○ 開智①	121	112	△ 9（108%）
52	○ 大宮開成①特別進学	59	55	△ 4（107%）
52	○ 西武学園文理（一貫クラス①）	52	37	△ 15（141%）
49	○ 春日部共栄①AM	68	56	△ 12（121%）
男子 1月11日～19日 AM・PM				
67	○ 開智（先端A）	62	54	△ 8（115%）
50	○ 獨協埼玉①	196	173	△ 23（113%）
52	● 城北埼玉①	150	151	▲ 1（99%）
67	○ 江戸川学園取手①難関大コース	128	114	△ 14（112%）
男子 1月20日～31日 AM				
76	○ 渋谷教育学園幕張①	136	131	△ 5（104%）
73	○ 市川①	302	285	△ 17（106%）
72	○ 東邦大学付属東邦（前期）	294	280	△ 14（105%）
69	○ 昭和学院秀英②一般	189	192	▲ 3（98%）
67	● 立教新座①	274	226	△ 48（121%）
64	○ 専修大学松戸①	280	298	▲ 18（94%）
64	○ 芝浦工業大学柏①一般クラス	260	228	△ 32（114%）
60	○ 麗澤①AEコース	106	91	△ 15（116%）
女子 12月～1月9日 AM・PM				
72	○ 東邦大学付属東邦（推薦）	58	102	▲ 44（57%）
73	○ 千葉県立千葉	77	96	▲ 19（80%）
72	○ 千葉県立東葛飾	91	86	△ 5（106%）
58	○ 茗溪学園（一般①）	101	85	△ 16（119%）
女子 1月10日 AM・PM				
68	○ 栄東A	167	176	▲ 9（95%）
65	○ 開智①	79	116	▲ 37（68%）
56	○ 星野学園（進学①）	118	130	▲ 12（91%）
52	○ 大宮開成①特別進学	87	56	△ 31（155%）
49	○ 春日部共栄①AM	62	60	△ 2（103%）
女子 1月11日～19日 AM・PM				
74	● 浦和明の星女子①	132	135	▲ 3（98%）
67	● 淑徳与野①	205	217	▲ 12（94%）
67	○ 開智（先端A）	34	49	▲ 15（69%）
59	○ 星野学園（理数選抜②）	58	61	▲ 3（95%）
女子 1月20日～31日 AM・PM				
76	○ 渋谷教育学園幕張①	89	94	▲ 5（95%）
74	○ 市川①	214	226	▲ 12（95%）
71	○ 東邦大学付属東邦（前期）	236	242	▲ 6（98%）
69	○ 昭和学院秀英②一般	230	220	△ 10（105%）
64	○ 専修大学松戸①	237	310	▲ 73（76%）
63	● 国府台女子学院①	266	268	▲ 2（99%）
60	○ 麗澤①AEコース	95	65	△ 30（146%）
54	○ 成田高等学校付属（一般入試）	78	67	△ 11（116%）
46	○ 千葉日本大学第一②	86	73	△ 13（118%）

「※」印は2018年新設校、または新設入試